

いしかわ

2003 **3** March
平成15年3月1日発行
第518号

町が好き、人が好き、
みんなですくする町が
一番好き



CONTENTS

2 ご存じですか？ 老人医療制度

4 健康いしかわ21パート

5 ミニ特集・教育ニュース

6 町のホットニュース

8 みんなの広場

10 I Like Ishikawa

11 町史編纂室だより

14 町からのお知らせ



SAKURA



SUGI



UGUISU



老人医療を取り巻く状況

老人医療を取り巻く状況

老人保健法に基づく老人医療は、患者負担のほか、公費（税金）と若

い世代が負担する拠出金（保険料・保険料）により支えられています。しかし、医療費の支払に充てられるために毎月負担していただいている保険税・保険料は経済の低迷で伸び悩み、各保険者は手持ちの資金がなくなりつつあり、厳しい財政状況にあります。

医療制度はわたしたちの生活に欠かすことのできない大切な制度です。将来に渡り医療費制度を維持していくためにもかかりの医療機関・薬局をもって適切な医療を受け、自身の健康管理に努めましょう。

新田保育所の

子どもたちと触れ合う

おばあちゃん！

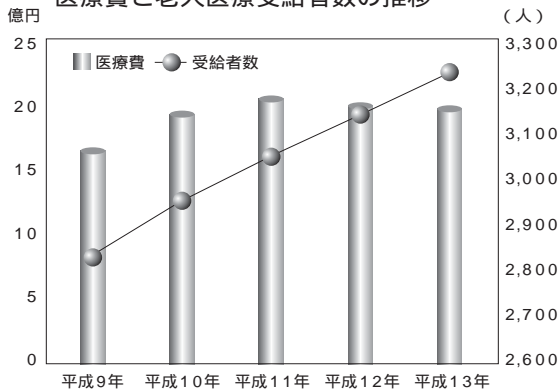
いい笑顔です！

平成13年度の石川町の老人医療費

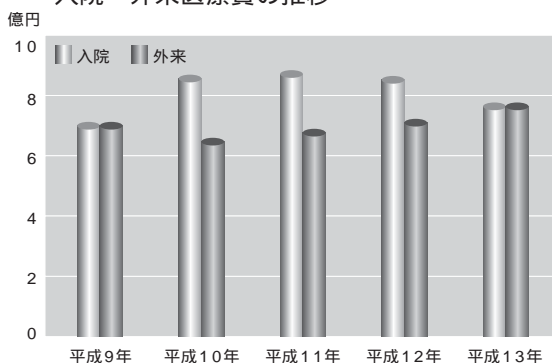
平成12年度から介護保険制度が導入された関係で老人医療費は減少傾向にあります。特に入院については食事療養費とともに介護保険に移行

したため減少しています。しかし、外来・薬剤については老人医療受給対象者の増加もあって徐々に増えています。

医療費と老人医療受給者数の推移



入院・外来医療費の推移



老人医療制度は、「老人保健法」に基づいてつくられた制度です。病気の予防や健康教室、健康相談などの健康づくり事業や保健医療サービスを提供するとともに、高齢者の適切な医療確保と医療費をみんなで公平に負担することを目的としています。



平成14年10月1日から 老人医療制度が変わっています

患者負担の見直し

老人医療受給対象者の患者負担は原則定率1割です。

ただし、一定以上の所得を有する方は定率2割負担です。

「一定以上所得を有する方」とは

ア、課税所得が124万円以上の老人医療対象者

イ、課税所得が124万円以上の老人医療受給対象者または70歳以上の者と同一の世帯に属する老

人医療対象者

人医療受給対象者

ア・イに該当する方であっても、

次の場合には申請によって1割負担が適用になります。

老人医療受給対象者並びにその者

と同じ世帯に属する老人医療受給対象者及び70歳以上の者の収入の合計が

637万円に満たない場合（世帯内に他に老人医療受給対象者や70歳以上の者がいない場合は450万円未満）

老人医療

対象年齢の引上げ

平成14年10月1日から老人医療対象年齢が75歳になりました。平成14年9月30日までに既に70歳に達している方については、老人医療の対象者とされます。

平成14年10月1日以降に70歳になられた方については、75歳にならないと老人医療受給対象者とはなりません。医療費の自己負担割合や自己負担限度額は老人医療と同じです。

65歳以上の一定程度の障害を持つ方で、町長の認定を受けている方は、従前どおり老人医療の対象となります。

自己負担限度額の見直し

同一月での医療費自己負担限度額が次のように変わりました。

	外来 (個人ごと)	入院及び 世帯の 限度額
一定以上所得を有する方	40,200円	72,300円 +1% (40,200円)
一般の方	12,000円	40,200円
市町村民税非課税世帯に属する方	8,000円	区分Ⅰ 24,600円
		区分Ⅱ 15,000円

「市町村民税非課税世帯に属する方」の区分について

「区分Ⅰ」↓世帯主及び世帯全員が住民税非課税の方

「区分Ⅱ」↓世帯主及び世帯全員が住民税非課税かつ各種所得区分に係る収入金額等から必要経費等を差し引いた各種所得が0円となる世帯に属する方

該当する方は役場担当窓口で申請をしてください。

「一定以上所得を有する方」の欄については「+1%とは、一定の限度額(361,500円)を超えた医療費の1%を示します。「(40,200円)」は、過去1年間で限度額を達した回数が4回目を以降になる場合に適用されます。

高額医療費の支給

同じ月内に、表の限度額を超えて医療機関に一部負担金を支払ったときは、役場窓口で申請すると超えた分の払い戻しが受けられます。

ホームヘルパーを支えてきた人々

石川町がホームヘルプサービス事業を始めたのが昭和45年頃。当時は家庭奉仕員という名称だったのですが、町が社会福祉協議会に委託して6人で始まったそうです。他町村では1人が2人で、福祉サービスが充実していたことがわかります。

みなさんは「お年寄りの喜びを励みにして」長年勤めることができたと思いを語ってくれました。



前列左から「円谷和子(曲木)、木戸忠一(母畑)、江尻千恵子(赤羽)、後列左から「深谷栄子(沢井)、近藤ユズル(鹿ノ坂)、瀬谷秀子(高田)、角田ハル(双里)、会田幸子(双里) 敬称略



健康いしかわ21 パート6

たばこ

健康いしかわ21計画をシリーズでお知らせしています。
2月号では、健康を維持・増進していくための身体活動と運動における、望ましい取り組み方について紹介しました。
今月号では、たばこが身体に与える影響と防煙・分煙・禁煙対策についてお知らせしていきます。

身体に与える影響

たばこが身体に与える影響として、肺がんをはじめとする各種がんへの影響があります。また心疾患・脳血管疾患といった循環器病、糖尿病や高脂血症を悪化させるなどのほか、歯周病および歯の喪失との関連、さらに妊婦に対しては低出生体重児や流・早産等を引き起こす危険性があると多くの研究で報告されています。また、受動喫煙でも身体への悪影響

響があり、特に妊婦、乳幼児への影響があります。さらに、未成年のうちから喫煙を開始することにより、健康被害の危険性が高まることはもとより、ニコチン依存の問題もあり、やめにくくなるという報告もありません。

そのため、本町では子ども、特にこれから子を生み育てていく若い女性がたばこに手を出さない防煙対策、非喫煙者へたばこ煙の影響を及ぼさない分煙対策、喫煙者がたばこをやめる禁煙（節煙）対策、以上3つの

対策が重点課題としてあげられます。

しかし、たばこには嗜好品としての歴史的な経過と、たばこに含まれるニコチンには依存性があり、自分の意志だけではやめたくてもやめられないのが現状にあります。

これらの推進を図るためには、一人ひとりが喫煙による身体への悪影響を正しく理解することが大切です。
防煙・分煙・禁煙対策を推進するために

学校教育の役割

小学校、中学校、高等学校での防煙教育の実施

未成年者の喫煙に関する講演会などPTAに対して実施

子どもの教育者として教職員からの分煙

家庭・地域の役割

保護者や地域住民はたばこの害の正しい知識について理解し、未成年者の喫煙防止に努めるとともに分煙化の推進

家庭内分煙、家庭内禁煙を実施し（子どもの手の届く場所に置かない等含む）たばこに手を出さない環境整備

各種講演会（PTA、職域、各種団体等）

各協力機関とのネットワークづくり

警察、学校、地域各団体等とのネットワークをつくり、未成年者の喫煙防止の推進

町の役割

妊産婦、その家族に対しての禁煙分煙教育

学校教育と連携しての健康教育の充実

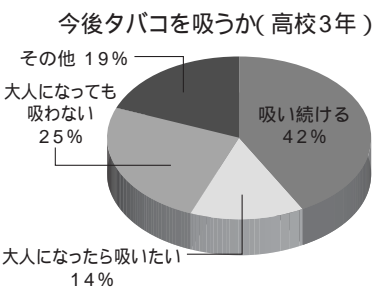
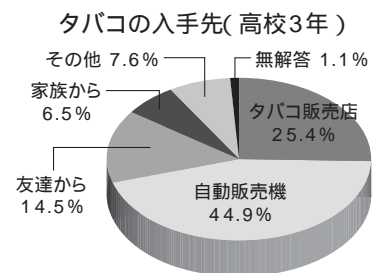
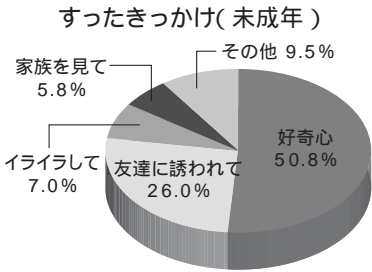
自動販売機の設置場所の規定（人目に付きづらい場所には設置しないなど）及び夜間販売規制

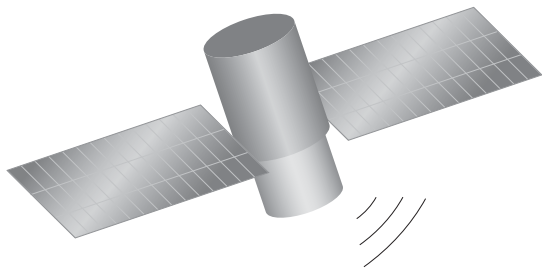
対面販売における未成年者のチェック体制の強化

たばこの害についての正しい知識の普及として、適切な情報提供（広報活動、健康教育）

職場の最適化対策として公共施設、企業への分煙調査と空間分煙の推進とともに、適切な喫煙所の配置や局所排煙機の幹旋についての情報提供

禁煙支援として禁煙プログラムの実施





● 母畑小学校 ●

1月21日(火)、県登録教育ボランティアである石川町の被川傳次さんが、中谷地区公民館長時の経験を生かして1、2年生に対して風の絵付け、風の揚げ方の指導を行いました。子どもたちは自由に絵を描き、しっぽをつけて完成させました。その後は外に出て、先生からアドバイスを受けながら校庭を走り回っていました。



● 石川小学校 ●

5年生は総合的な学習の時間に「クリーンアップ石川」というテーマで環境問題に取り組んできました。11月15日(火)、石川小研究発表会では、各グループごとに学習成果を発表しました。その中のごみ減量化・シンボジウムグループはごみ減量計画等を発表し、ゲスト・ティーチャーとして招いた役場環境対策室の職員から意見をもらっていました。



● 中谷第一小学校 ●

1月22日(水)、県登録学習ボランティアである石川町の有賀正明さんをはじめ地域の人材7人の協力を得て、伝承遊びの会が行われました。子どもたちは低・中・高学年に分かれて、けん玉、あやとり、おはじき、凧づくり、めんこなどを体験しました。初めての経験という子が多く、興味深げに取り組んでいました。



● 南山形小学校 ●

12月15日(日)、板橋の小木茂さんを講師に招いて全児童がしめ縄づくり・縄もじりを体験しました。1〜4年生は縄もじり、正月飾りづくり、5・6年生はしめ縄づくり。先生の指示に耳をかたむけながら、意欲的に取り組みました。出来上がった縄や飾りに子どもたちは大満足で、「またやりたい!」と言っていました。その後、しめ縄は地区内の一人暮らしのお年寄りにプレゼントされました。

ゲスト・ティーチャー(教育・学習ボランティア等)
の活用による教育の実践
石川町教育委員会

肉牛初せり市に 288頭が出場

1月15日、石川郡畜産農業協同組合の家畜市場で、肉用子牛初せり市が行われ288頭が出場しました。

このうち287頭が取り引きされ、売り上げは1億1338万5300円となりましたが、昨年11月～12月にかけて10年ぶりに40万円台を回復した高値は継続せず、12月から2万～4万円台の下落となりました。

メスは121頭で平均35万1325円で前月比 2万6488円
去勢は166頭で平均42万6958円で前月比 4万3906円



農業者10人に 経営改善計画認定書を交付

1月23日、役場町長室で農業経営改善計画認定書交付式が行われました。

西牧立博町長から中島初美さん（沢井）ら10人（再認定4人、新規認定6人）に認定書が手渡されました。

認定を受けると、低利率で資金の借り入れができるほか、税制面の優遇措置、農業技術の優先的指導などの特典があります。

10人の認定期間は1月13日から5年間。町の認定者は43人になりました。

認定者は次のとおりです。（敬称略）

遠藤 正（中田） 迎 慎（母畑） 中島初美（沢井） 清野 宏（同） 小林幸一（同） 水野英隆（同） 水野谷公雄（赤羽） 高木正仁（同） 郷 友美（新屋敷） 南條茂次（双里）

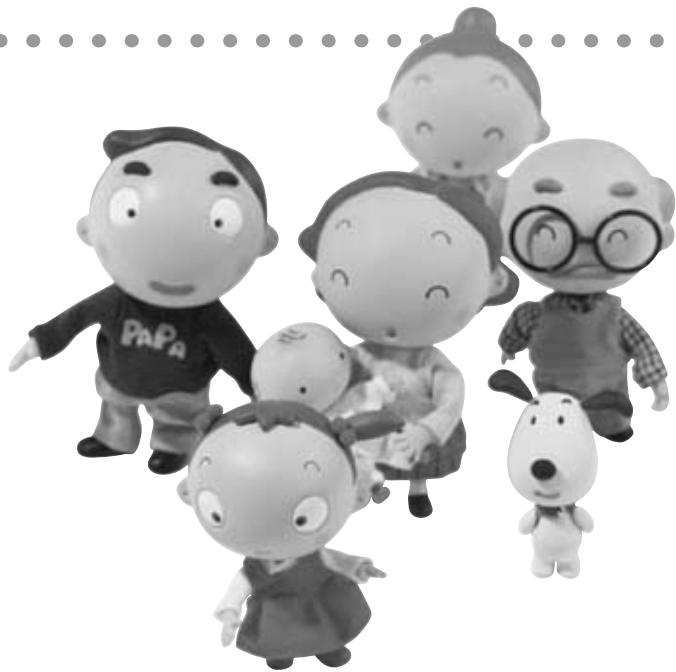
石川文化幼稚園で 三世代餅つき

1月28日、石川文化幼稚園で三世代餅つきが行われました。

同園では初めての試みで、園児、保護者など約170人が参加。

残雪のある園庭に大きな臼2台用意され、保護者が蒸かしたふかふかのもち米を大きな掛け声をかけながら搗いでいました。

子どもたちは、その場で熱々の餅をほおばり、屋内では大福づくりにも挑戦し、和やかに楽しんでいました。



VS

HOT NEWS

町の ホットニュース

身近に行われている
楽しいイベントや
明るい話題などを
役場総務課まで
お寄せください。

町体育協会がスポーツ 普及者など33人を表彰

1月31日、共同福祉施設ホールで14年度町体育協会表彰式が行われました。

始めに岡崎重春会長が「みなさんと力を合わせ、本町の体育振興に努力したい」とあいさつ。西牧立博町長らが祝辞を述べました。

表彰では、スポーツ普及賞に阿部健一さん（北町・写真）、大原正敏さん（当町）、我妻康雄さん（松木下）、優秀指導者賞に車田雅一さん（学石高教諭）、また昨年、県・全国大会で優秀な成績を残した個人29人一人ひとりに優秀選手賞として賞状と記念メダルが贈られました。



学石野球部95年史 “石晶”を出版

1月31日、学法石川高校野球部OB石晶会（酒井信夫会長）が母校の創立110周年を記念し、3年がかりで編纂してきた野球部史「石晶」が完成しました。

同野球部は明治41年に創部され、95年という輝かしい歴史を初めて240ページ（B5版）にまとめたものです。

1000部製作し、2月5日以降から一般に1500冊を販売することになりました。

一冊4000円で、OB会員のほか町内の書店などでも取り扱っています。



女性モニター新春座談会で まちづくりへの意見交換

1月31日、中央公民館で女性モニター新春座談会が行われました。

西牧立博町長のあいさつのおと、モニター通信を通して提出された内容や回答などについて報告されました。

その後出席したモニター8人からは、社会体育施設の利用、県道いわき・石川線石川バイパス、町立図書館などの文化施設建設計画、保育所統廃合、公民館事業など、幅広い分野について、まちづくりへの意見を交わしました。



青春ど真中 Q&A

双里字双里
橋本 勝友さん(21歳)



Q 職業 建築 土木の資材を販売、納入し、検査をする仕事をしています。

Q 今、情熱を傾けて取り組んでいることは何ですか

A 昨年からスノーボードをはじめ、いま夢中になっています。寒いので絶対行かないと決めていたのに、行ってみるとすごく楽しく、かなりはまってしまいました。まだ、始めていない人は、ぜひ、やってみてください。

Q 将来の夢を聞かせてください

A 誰からも敬愛される人間になりたいです。

Q 町政に望むことはなんですか

A もっと明るみのあるまちづくりをして活性化してほしいです。

Q 最後に理想の女性のタイプは

A 明るく、しっかりしている人。

次回は橋本さんの紹介で、
生田目 恵さんです。

ほのぼのの二人三脚 Q&A



添田 和一人さん(70歳)
ハルさん(75歳)
住所/北山形字引地



このコーナーでは、金婚式(結婚50年)を迎えられたご夫婦を紹介していきます。

Q お子さんは何人ですか

A 4人授かり、孫が11人になりました。

Q 結婚されて50年、思い出を聞かせてください

A 私たちは昭和27年6月に結婚。戦後の食糧増産体制のなか、稲作、葉タバコ、畜産などの農業を営む傍ら、建設業界でも一生懸命働きました。今でもニラ、ブロッコリー、シュンギクなどの野菜を出荷しています。

Q お二人の楽しみは何ですか

A 和一人さん 温泉旅行や植木の手入れです。

A ハルさん 近所の友だちなどのお茶のみ話です。

Q 石川町の一番好きなところを教えてください

A あさひ公園のある、今出川沿いの桜並木はきれいですね。

Q 町政に望むことは何ですか

A 北山形松作から山形福田までの町道など、最終処分場へのアクセス道の拡幅整備です。

HAPPY SMILE

「ハッピースマイル」では1歳から3歳までのお子さんの写真を募集しています。応募方法は、お子さんの写真名前、誕生日、電話番号を明記して、封書で役場総務課広報広報係までお送りください。後日担当が撮影にお伺いします。応募多数の場合は、掲載できない場合もありますのでご了承ください。



とうま 冬磨ちゃん
添田 山形字松原
真由美さんの長男
平成13年12月25日生まれ
「すくすく大きくなって、丈夫な子に育ってね！」

人物発見伝

神奈川県

遠藤 一彦さん
(横浜ベイスターズ投手コーチ)

学法石川高・野球部の 甲子園での再会を待ち望む

生まれはどこですか

西郷村です。

どんな思い出がありますか

甲子園を目指すため、昭和46年に学法石川高校へ入学。野球に明け暮れる日々で、当時は寮がなく辰巳屋食堂の大竹さん宅に下宿(現養老の瀧)、学校、グラウンドを歩き来するだけでした。我ら野球人にとり故柳沢泰典監督・クラス担任という素晴らしい先生とのめぐり逢いや、高校最後の県大会決勝では双葉高校と対戦、投手戦の末1対2で敗れ、甲子園に一步及ばなかった悔しい思い出は今でも忘れませんが、今、どんなことをしていますか

東海大学卒業後、昭和52年に元大洋水エールズにド

ラフト3位で入団、15年間投手として460試合に出場134勝し、沢村賞など名誉な賞をいただきました。平成4年に退団、4年間の野球解説者を経て、現在横浜ベイスターズの投手コーチをしています。世代交代が進むなか、若いエースづくり、個人のレベルアップとチーム全体へ反映、さらには、少ないチャンスをつかめるよう指導をしています。

あなたから見る石川町は

昔ながらの素朴な町、歴史と伝統のある町を守り続けてほしいと思います。また、オフには旧友との再会を楽しみに遊びに出かけます。高校野球シーズンになると母校の結果が気になり、学法石川高校野球部の一日も早い甲子園出場を待ち望んでいます。

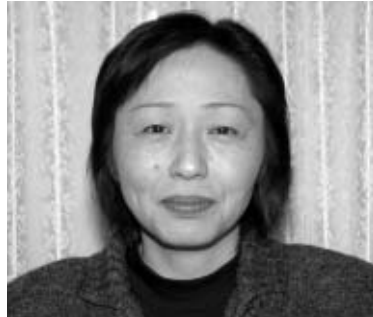


学石野球部の関東石晶会総会でのようす(近内行雄さんと一緒に)

はるふるとし

中野字滑津

国井トシエさん



千葉県木更津市

あなたの故郷はどんな所ですか

南房総の中心都市として発展し続け、近年はバイオテクノロジの国際的研究機関の建設や、東京湾アクアラインの開通により一層の発展が期待されている、人口約123万人の千葉県木更津市です。市内には工業地帯、マンモス団地が軒を連ねるなど、首都圏のベッタタウンとして賑わう反面、スモーク現象の発生など環境汚染の問題もあります。

海岸では、温暖な気候に恵まれた潮干狩りや海苔の養殖が盛んに行われています。

いつ、石川町に来ましたか

昭和49年に来ました。

石川町の印象は

当時はタイムスリップしたように感じました。国道118号線の整備が行われた時期で、駅前周辺以外は砂利道が多かったように思います。空気がきれいで、緑が生きているし、みなさん親切なので過ごしやすいと思います。

町政に望むことは何ですか

若者の雇用機会が少ないので、自宅から通勤できる範囲に企業があればと思います。

「私のふるさと」は、町外から石川町に来られた方々を紹介していきます。6地区を巡回し、みなさんの生まれ育ったふるさとの思い出、石川町の印象などをお聞きしていきます。登場したい方は、総務課広報広聴係までご連絡ください。

りょうた
鈴木 峻太ちゃん

沢井字上ノ原
貴史さん・志保さんの長男
平成14年1月24日生まれ

「いつも元気で明るい峻太くん。お父さんのように、大きく育ってください。」





私の好きな石川・変えたい石川

聞いてみました 町の声

若者が住んでみたい 住んで良かったと思えるまちづくりを

草野伝男さん 曲木字仲ノ内



今、どんなことをしていますか
年間通して50アール程度のりんご畑の管理などを中心に過こしています。ほかに民生児童委員の役職もおおせつかり地域内の老人宅

訪問をして、話し相手役などをしていますが、年々一人暮らしや老夫婦だけの家庭が多くなり、心細く感じています。

どんなところが好きですか
自宅前の丘から眺める那須連峰を中心に、南は日光方面から北は磐梯安達太良までのパノラマや、風光明媚な山川との町に住む、おらかな町民の人柄が気に入っています。

どんな将来を望みますか
日本経済も冷え込み、少子高齢化が進むわが町も、企業の倒産やリストラなどが深刻化し、町全体の活気が少なくなっているようです。更に年々人口が減少している状況にあります。

このような社会情勢のなか、更に企業誘致をするのはむずかしいと思いますが、町ではもっと若者が定着しやすく、安心して子育てのできるような環境づくりを、大胆に展開してほしいと思います。



楽しく遊ぶ野木沢保育所の子どもたち

例えば、第3子以降の出産費の無料化や児童手当額の見直しなど、少子化対策、子育て支援を具体的に考えほしいと思っています。

年若いいく我々の保健・福祉の向上も大切だと思いますが、これからの時代を生き抜いていく若者たち、小さな子どもたちに夢を与えられるような方策が必要ではないでしょうか。

若者が住んでみたい、住んで良かったと思えるような、まちづくりをして行ってほしいと思います。

町づくりを学ぶ

広域行政を考える
広域行政って何のこと？

広域行政

市町村が協力し、様々な事業を連携して行うこと

市町村は、みなさんの一番身近な地方公共団体として、様々な行政サービスを提供しています。しかし、予算、人員には限りがあり、事務によっては市町村が単独で効率的に取り組んでいくのは困難だったり、専門的な職員の確保がむずかしい場合などがあります。

そこで、住む人の利便性を高めながら、効率的にサービスを提供していくために、市町村が協力し、様々な事業を連携して行うのが「広域行政」です。

社会の変化

効率的な行政サービスのために
今、地方分権の進展、少子・高齢化の進行など、市町村を取り巻く状況は、大きく変わっています。こうした状況の中で、市町村がこれから、みなさんの要望に的確に応え効率的に行政サービスを提供していくために、広域行政についていっしょに考えてみませんか。



山頂が白く染まる磐梯安達太良山のような

町史

編纂室だより

67



石川義塾は明治25年(1892)6月、塾主石川村長吉田光一・塾長森嘉種によって設立されました。石川義塾は中等教育(現在の中学・高校)をめざしたので、入塾資格は高等小学校卒業でした。したがって高等小学校の充実が義塾発展の前提でした。本号と次号は地域の小学校教育の振興に努力した人物と業績を紹介します。

県下に先駆けた高等小学校寄宿舎

石川郡立石川高等小学校

明治19年(1886)の小学校令により、それまでの小学校はそれぞれ4年制の尋常小学校と高等小学校に分離され、尋常小学校が義務教育とされました。

高等小学校への進学は低調でしたが、豊かな家庭の子女から増加していきました。しかし当時の町村の財政状態により、1郡1、2

校の設置がやっとでした。

石川郡の場合、明治23年4月

石川高等尋常小学校を分離して、

明治26年7月2日の「福島民報」は、伊橋校長の寄書(投書)を掲載している。その要点を次に

先駆者日根校長

なお、明治40年に義務制尋常小学校は6年、高等小学校は2年となって昭和16年まで続きました。

誌(稿本)

石川郡1町13カ村組合による石川郡立石川高等小学校を開設しました。しかし校舎(現在の町武道館付近)は尋常小学校と同じで教員も兼務でした。さらに浅川にも分教室を設置しました(後に石川郡立第二浅川小学校となる)。時の兼務校長でもあった伊橋平陸は、増加した生徒100人を収容する高等小学校単独の仮校舎として、古町乗蓮寺を借用しました。(郷土誌(稿本))

記します。

寄宿舎設置の目的

高等小学校から遠い地域の生徒は、通学不便のため寄宿生活をしなければならぬ。しかし費用がかかるため、父兄は子弟の希望をかなえてやる事ができない。寄宿舎の始まり

明治22年5月、日根富三郎校長のとき生徒5人、授業生(教諭の助手)1人が石川村新町47番地の民家を借りて自炊生活を始めた。日根校長はすでに、ここで青年のために夜学授業を行っていた。

伊橋校長の整備

明治23年1月、伊橋校長が赴任したときは12人の寄宿生徒がいて2人の授業生が指導に当たっていた。翌年4月郡組合が寄宿舎の目的に賛同し、年50円の補助金を出すことが決まり、借家代と賄い婦費にあてることになった。そこで舎則と生徒心得も制定した。

完全学校週5日制対応事業

石川町の子どもたち

パート 12

体験が子どもを育む

石川町教育委員会

11月30日(土)、野木沢地区公民館事業の「のぎさわ少年体験塾」に小学生11人と保護者3人が参加し、竹とんぼづくりを体験しました。

指導者の二瓶孝夫さんから

刃物の使い方や竹の削り方について説明を受けてから製作に取りかかりました。子どもたちは慣れない手つきで、竹をちよつど良い大きさに削って羽の部分を作りました。出来上がると今度は、ろつそくであぶり、羽をねじる作業を行いました。竹が曲がってくると子どもたちは不思議そうにその様子を眺めていました。今回の体験塾は、刃物を使うことが少なくなっている子どもたちに、いい経験になったと思います。



12月25日(水)、山橋地区公民館事業「チャレンジ」でも教室に小学生16人と保護者1人が参加し、野木沢地区公民館の安田良廣館長と長寿会の6人の協力を得て、六角凧づくりが行われました。

子どもたちは先生から指示を受けながら、竹を削って骨つくりから始め、次に、和紙に思い思いの絵や文字を描きました。

最後に骨をくつつけて糸を結び作業を行いました。出来る上がるまでには、かなりの時間がかかりましたが、子どもたちは根気強く最後まで取り組むことができました。どの子どもも自分が作った凧に満足げで、笑みを浮かべていました。



最初の高等小学校校舎・乗蓮寺本堂(字下泉)

虹の窓



火の用心!
家の周りの危険ポイントをチェックしよう!

住宅火災の3大原因はこんろ・たばこ・放火

平成13年中に発生した火災は63,591件、その半数以上は、住宅やビルなどの建物火災です。これらの建物火災による死者は1,397人、負傷者は7,030人に上ります。

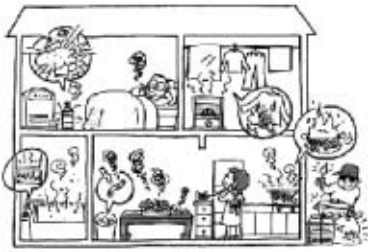
こうした建物火災の7割以上は、私たちの生活の拠点である住宅(一般住宅、共同住宅など)から出ています。空気が乾そうする春先は火災が発生しやすくなる季節です。住まいからの火災を防ぐため、ふだん以上に火の用心を心がけましょう。

火災の危険は、さまざまな場所に潜んでいます。且ころから家の中や外をチェックして、火災原因になりそうなものを取り除きましょう。

出火の3大原因は、「こんろ」「たばこ」「放火」(放火による疑い)も含む)です。また、「ストーブ」による出火も多くなっています。

こんろ

こんろの火をつけたまま、台所を離れるのは危険です。特に天ぷらなど揚げ物をしているときは、その場から決して離れないこと。



少しの時間でも離れる場合は必ず

こんろの火を消しましょう。

たばこ

火災原因の中で最も死者が多いのがたばこです。そのほとんどは寝たばこや吸い殻の不始末といった喫煙者の火気管理意識のなさが不注意が原因です。

放火

放火されないためには、家の周りに燃えやすいものを置かないことです。ごみなども夜のうちに出すと、そこに放火される危険があります。必ず収集日の朝に決められた場所へ出ししましょう。



弁護士を頼みたいとき

どうやって

弁護士を見つけるのか

弁護士に相談したいが、知り合いに弁護士がいらない場合、各都道府県にある弁護士会の法律相談や弁護士の紹介・あっせん制度を利用するとよいでしょう。最近では、

多重債務、離婚、相続、交通事故、消費者問題、医療問題など専門的な相談窓口を設けている弁護士会も多くなっています。また刑事事件の場合には、各地の弁護士会が当番弁護士制度を設けていますので、当番弁護士の受付窓口につながることをお勧めします。

弁護士に頼む際の注意点

弁護士に依頼する場合、紛争の経過や内容については、有利なことばかりでなく不利なことも全部正確に話すことが大切です。そして、資料はできるだけ整理し、事実経過を書面にまとめて持参すること、理解も得られやすく時間の



節約にもなります。

依頼する際には実費はどのくらい必要か、弁護士の着手金や報酬金はいくらくらい必要かなど、かかる費用についてもきちんと説明を受けることが重要です。必要であれば、書面で説明を求めることもできます。

「予算が合わなければ法律扶助協会に相談を

弁護士を依頼する経済的余裕がない場合には、(財)法律扶助協会が裁判費用の立て替えと弁護士の紹介をしてくれます。「予算が合わなければ同協会の相談を受けてみるのもよいでしょう。」

1 各地弁護士会の連絡先のお問い合わせ先
日本弁護士連合会

☎03 3580 9841

2 (財)法律扶助協会本部

☎03 3581 6941



みんなのエコライフ

45

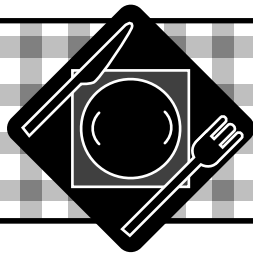
家庭・オフィスでできる省エネ18の提案

電気製品の主電源が入りっぱなしになっていませんか?

電気製品の待機時消費電力は決して小さくありません。リモコンでスイッチを切ついても電力を消費する機器がたくさんあります。電気製品の主電源をこまめに切りましょう。



食改だより



あなたも食改さんになってみませんか？

“私たちの健康は私たちの手で”をスローガンに研修会や料理講習会に参加して「食生活」を中心とした健康づくりの勉強をし、地域のみなさんへ広める活動をしているのが『食改さん（食生活改善推進員）』と呼ばれているボランティアです。主な活動は、下記のとおりです。

あなたのご近所にも「食改さん」がいます。どんなことをしているか、聞いてみてはいかがでしょうか。そして、一緒に楽しく活動してみませんか？

活動内容

お問い合わせ先
石川町保健センター ☎26-8416

項目	主な活動内容	
研修会	1 県総会・研修会参加 2 石川支部研修会参加（年間4回） 3 町、県などで開催する研修への参加	講演会、調理実習など
自主事業	1 伝達料理講習会（10力所） 2 ヘルスサポーター21事業 3 母衣旗まつり出店（かぼちゃまんじゅう）	1 11月実施 2 2月実施
町事業への協力	1 乳幼児教室でのおやつ調理 2 基本健診時の体脂肪測定 3 骨密度検査での試食品提供 4 ねんりんピック会場での豚汁調理提供	3 骨を丈夫にする“さつまいも茶きん” 4 平成14年度のみ
広報活動	1 広報誌「ふきのとう」発行（年1回）	
その他	1 長寿会、婦人学級等料理教室の協力 2 自己学習、健康づくりの実践、普及 3 栄養指導人形劇公演（保育所児童、保護者）	



痴呆予防の話(4)

くわりきりじょうずは 介護じょうず

多くの痴呆の高齢者は、家族が一生懸命介護すればするほど、痴呆の症状を悪化させ、家族も心身ともに疲れきってしまいます。肉親が痴呆になったとき、どの家族もその現実を受け入れにくいようです。もどおりになってもうたため、一生懸命忘れたことを教えたり、説明したりしながら頑張つてしまいます。しかし、残念ながら、もどりに戻ることがあまりありません。それよりは、現実を認めて受け入れることが大切です。過

去にこだわっている時こそ、介護がもつとも大変なときなのです。訳のわからないことをいって話を合わせると、本人はこだわらなくなりますが、ここで否定すると高齢者はかえって混乱してしまうのです。自分で必ずなおして見せるなどと、気負ってしまうと効果が上がりにくいです。そればかりか、介護している人が倒れてしまうことにもなりかねません。介護の原則は、「気負いばかりで効果なし」ところを、痴呆高齢者の世界の状況と気持ちを考えながら、俳優になつたつもりで合わせる演技をしてみましょう。

かかりつけ医は あなたの命綱です



かかりつけ医をもつことは、病気の時はもちろん、生活習慣病を事前にチェックしたり、日常の健康管理をするうえでもとても大切です。また介護保険を利用するようになったときでも、あなたの状態を正確に把握してくれているかかりつけ医は、まさにあなたの命の綱といってもよい存在なのです。

かかりつけ医をもつとこんなよいことがあります

- 的確な診断と治療がうけられる
- 急病のときも電話などで適切な指示がつけられる
- 医師との信頼関係が築ける
- 適切な医療機関を紹介してくれる
- 日常の健康づくりについて相談にのってくれる

あなたは病院渡り鳥？ 重複受診をさけましょう



ひとつの病院で、何か所もの医療機関を渡り歩いてしまう人はいませんか。医師を変えるたびに同じ検査をしたり、治療をやり直したり、薬をもらったり...。このような「重複受診」は病気を治すどころか、からだにとって危険である場合もあります。かかりつけ医をきめて、合理的な受診を心がけましょう。

重複受診はこうして防ぎましょう

- 自分の病気や治療法について納得いくまで説明をうける
- 医療機関を変える必要がある場合は紹介状をもらう
- 健康手帳の医療の記録欄に必ず記入してもらう
- 信頼できるかかりつけ医をもつ
- やむをえず複数の医療機関にかかっているときは、その旨各医療機関に伝える



今月の納期 たばこは町内で買ひましよう・町税を納めて安心明るい家庭



案内

募集

相談

Fメール <http://www.fukushima-minpo.co.jp/fml/>

パスポート申請で「住民票」の提出が必要なくなりませ

県のパスポート窓口において、平成15年4月1日から、住民基本台帳ネットワークシステム（いわゆる「住基ネット」）が利用できるようになるため、その利用を希望される方については、パスポート申請の際に「住民票」を提出する必要がなくなりませ。また、これまでどおり住民票を

提出いただいても申請は可能です。なお、「戸籍謄（抄）本」については、これまでどおり提出していただく必要がありますので、ご注意ください。

お問い合わせ先
福島県国際課
☎024 521 7999

福島県労働委員会
からのお知らせ

県地方労働委員会では、労使間の賃金未払い、解雇、懲戒処分といった労働条件をめぐるトラブルについて、労使双方から相談を受け付けています。費用は無料です。お気軽にご相談ください。

なお、当委員会のホームページをご覧ください。
お問い合わせ先
地方労働委員会事務局
☎024 521 7594
<http://www.pref.fukushima.jp/chirou/>

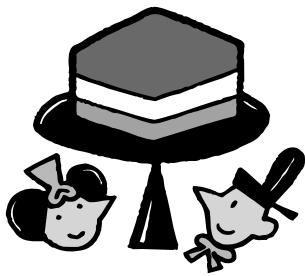
被災者自立支援金の
特例措置について

大阪府内で阪神・淡路大震災で被災した被災者を支援する「被災者自立支援金制度」につきま

は、世帯主要件を見直す特例措置を設け、全ての支給要件を満たす世帯に支援金を支給することしました。申請受付期限は平成15年3月31日まで。

支給要件など詳しくは、被災した日に在任していた市の被災者自立支援制度担当課（大阪市・豊中市・吹田市・池田市・箕面市）までお問い合わせください。

お問い合わせ先
大阪府総務部防災室危機管理課
総務・啓発グループ
☎06 6942 9677



お詫言と訂正
2月号、もつすく「年生」のなかで、呼名に誤りがありましたので訂正してお詫言申し上げます。
中谷第一小学校
（誤）深谷 あずさ
（正）瀬谷 あずさ

「特選」舞台は全国へ

第48回福島県市町村広報コンクール速報
みなさんに愛され親しまれ続ける「広報いしかわ」

福島県と福島県広報協会主催の「第48回福島県市町村広報コンクール」の審査会が1月22日県庁で行われ、石川町が広報紙の部（町村部・人口1万人以上）で、「特選」を受賞しました。
今回受賞したのは、広報いしかわ「平成14年6月1日号で、2月に行われた新成人者による模擬議会「新世紀未来議会」のようすを

4ページの特集したもので、1昨年に引き続き、本町としては5度目の特選となりました。
この度の受賞は、町民のみなさんをはじめ、各関係機関のご支援ご協力のためものであり紙上より厚く御礼申し上げます。
なお、平成15年全国広報コンクールに福島県代表として出品され審査が行われています。



街で「「広報いしかわ」の取材をお願いします」と言われたらご協力をお願いします
親しまれる広報紙を目指し、みなさんと一緒に紙面をつくり上げていきますので、更なるご支援、ご協力をお願いします。

**福島自動車保険
請求相談センター**
専門の相談員がご相談に応じます。
損害保険一社のご相談も受付します

（社）日本損害保険協会 東北支部
<http://www.nippon.or.jp>

Tel. 024-521-1295
福島県会館内 電話 024-521-1295
岩手県会館内 電話 024-521-1295



3月 March			
15	土日	家庭の日	
16	日	心配ごと相談(午前10時~)	老人福祉センター
17	月	彼岸入り	
18	火	野木沢幼稚園卒園式	同園
		石川文化幼稚園卒園式	同園
19	水	町内小学校卒業式	各小学校体育館
20	木	年金相談会(午前10時~)	勤労青少年ホーム
21	金	春分の日	
22	土	新田・谷沢・板南保育所満了式	各保育所
23	日		
24	月		
25	火	交通事故巡回相談(午前10時~)	役場宿直室
		第一・第二・母畑・野木沢保育所満了式	各保育所
26	水	外楨・中田・山形保育所満了式	各保育所
		中谷児童館満了式	同児童館
27	木	心配ごと相談(午前10時~)	老人福祉センター
		沢田児童館満了式	同児童館
28	金		
29	土		
30	日		
31	月		

4月 April			
1	火	交通事故ゼロ・歩行者優先の日	
2	水	東日本高等学校ハンドボール大会	クリスタルパーク・石川
		(~4日)	
3	木	第一、第二、母畑、野木沢保育所入所式	各保育所
4	金	新田、谷沢、板南保育所入所式	各保育所
		心配ごと相談(午前10時~)	老人福祉センター
5	土	外楨、中田、山形保育所入所式	各保育所
		沢田児童館入館式	同児童館
6	日	春の全国交通安全運動(~15日)	
7	月	町内小中学校入学式	各小中学校体育館
8	火	学法石川高等学校入学式	同体育館
		野木沢幼稚園入園式	同園
9	水	県立石川高等学校入学式	同体育館
10	木	石川文化幼稚園入園式	同園
11	金		
12	土		
13	日		
14	月	心配ごと相談(午前10時~)	老人福祉センター

メモリーコーナー



(平成15年1月1日~1月31日まで届出分 敬称略)

近吉二佐鈴
藤田瓶藤木
節知ト政義
子子ミ秋雄



おくやみ

矢八宗齊木小新
島木沼像藤畑林郎
里勇明孝康敏新
美一美子明婦



カップル誕生



板橋小遠山永首関二
橋豆藤藤田沼沼根瓶
太陽咲之介京真(兼
(徹・まゆみ)正(秀幸智美)幸大(兼
里山新屋中立境双中住
沢形敷野岡内里野所



こんにちは赤ちゃん

沢境中中山住
井内野野形所
関小小箭相佐
根木松内田藤
一ヒ正豊伊ク
口則郎二

桑橋大村
澤本平音
秀伍(泰三恵美子)莉(智洋優子)輝(敏雄恵子)志音(健治明美)



猫板南大立曲
啼橋山形室岡木

北山沢梁
山形井瀬

小さな美術館

第192回
沢田小学校

施設の紹介

「考える子ども」「明るい子ども」「つよい子ども」を教育目標に、125人の児童が毎日元気に過ごしています。



「さりがにの国で遊んだよ」

しょうへい
野内昌平さん(2年)

さりがにの国で、おどったり、およんだり、あそんだりして、楽しく過ごしました。



「地蔵尊」

みなみ
郷美奈実さん(6年)

建物を立体に見せるために、柱のかただけでなく、かげになっている所の色づかいを工夫しました。

編集後記

年度末になると年末年始の忙しさと違い、様々な分野での転身の時期。卒業、進学・就職、異動、引っ越しなど、心身ともに落ち着かない雰囲気になるかもしれません。石川町も平成14年度最後の月で、議会の定例会において新年度の事務事業や予算等が議決される予定です。最近では県内でも急速に合併動きが始め、当地方では4町村議会の否決によって議論する場が設けられませんでした。各自治体の生き残りも大変な時期にきています。不景気によるあらゆる税の減収や国の一方的な交付税削減など、無理やりとも思える地方への圧力は厳しいものがあります。
(迎 茂城)

町民憲章

1. 自然と文化を愛し
豊かな町をつくりましょう
1. 親切と勤労をむねとし
住みよい町をつくりましょう
1. 歴史と未来をみつめ
誇りある町をつくりましょう

ふるさとの花だより



写真提供 / 関根政信さん

(白タンポポ：キク科)

3月～5月にかけて日当たりの良い場所に咲きます。日本には約20種のタンポポがあります。1種で全国的に広い分布をもったものは少なく、地方によりその種類が変わります。この近辺では、カントウタンポポ(黄タンポポ・白タンポポ)が多く見られます。

表紙の登場人物



第一保育所に通う大野静香さん(中央)と、祖父の角夫さん(左)、祖母のシロヨさん(右)です。

町の人口

2月1日現在住民基本台帳

	19,437人(+10)
男	9,492人(+10)
女	9,945人(±0)
世帯数	5,592戸(+13)

()内前月比